

# MMの四半世紀の航跡 ～MMのこれまでとこれから～

日本モビリティマネジメント会議（JCOMM） 代表理事

藤井聡

（京都大学大学院教授）

# モビリティ・マネジメント（MM）と は？（JCOMMHPより）



渋滞や環境、あるいは個人の健康等の問題に配慮して、過度に自動車に頼る状態から公共交通や自転車などを『かしこく』使う方向へと自発的に転換することを促す、一般の人々や様々な組織・地域を対象としたコミュニケーションを中心とした持続的な一連の取り組みのことを意味します。

具体的には、コミュニケーション施策を中心として、様々な運用施策、システムの導入や改善、それらの実施主体の組織の改変や新たな組織の創出などを実施しつつ、持続的に展開していく一連の取り組みを意味します。

# 数字でみるJCOMM 20年のあゆみ

2006年に東京で第1回JCOMMが開催されて今年で20年、この20年間、全国各地でJCOMMが開催され、多くの出会いと議論が生まれました。ここでは、JCOMM20年のあゆみを数字で振り返ってみます。

開催回数 10回開催 10都市開催  
 会員数 法人会員 行政会員 個人会員

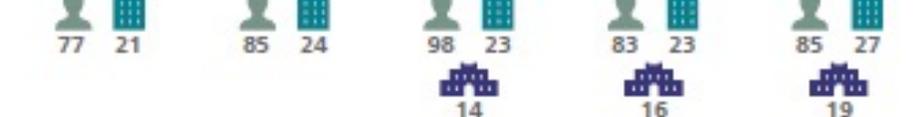
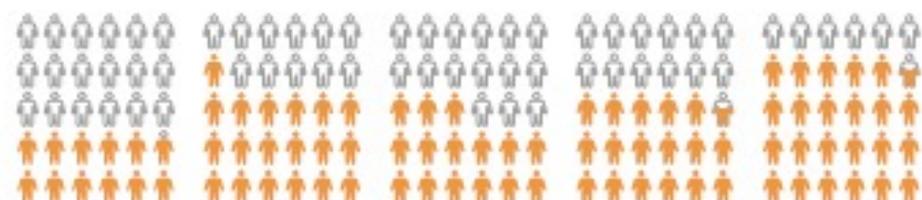
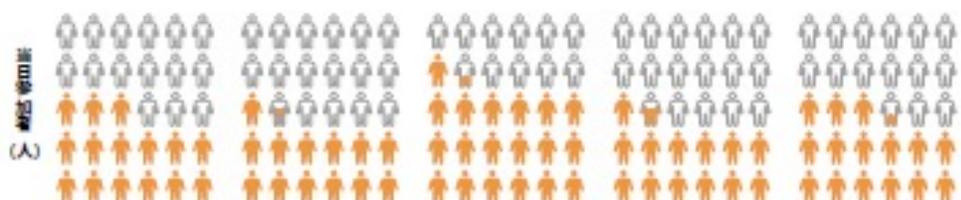
注釈  
 ・行政会員数は、開催地、開催地はローカルレベルでの開催であり、JCOMM法人の全国展開にも対応しています。  
 ・2006年～2007年は2007年10月開催の東京大会の開催地として、2006年の開催地を東京大会の開催地として扱っています。2008～2009年の開催地は開催地を東京大会の開催地として扱っています。  
 ・法人単体会員11名(2007年～)は法人会員の内訳とはなりません。



2006 東京  
 2007 札幌  
 2008 京都  
 2009 別府  
 2010 福山



2011 八戸  
 2012 富山  
 2013 仙台  
 2014 帯広  
 2015 東京



初回のJCOMM、海外招待講演や「MMの子引き」講習セッション開催  
 JCOMM賞(マネジメント賞・お祭り賞・デザイン賞)創設  
 JCOMM賞(プロジェクト賞)創設  
 一般社団法人JCOMM設立、会場主催者に創設

東日本大震災により開催地変更  
 懇談会でライブ開催  
 2011年開催予定だった仙台で開催、行政会員を初賞  
 同一都道府県で2回目的実施、超豪華な意見交換会  
 10周年記念大会、国土交通大臣祝辞、記念ノベルティ制作

# 数字でみるJCOMM20年のあゆみ

2011年東日本大震災や2020年以降の「コロナ禍」による一時的な変化はあったものの、当日参加者数や発表件数は20年間ほぼ増加基調。2009年に設立された一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議（JCOMM法人）の会員数も法人会員を中心に増加傾向にあります。

**発表件数** 12 発表形態: 3 オンライン発表、9 ポスター発表
   
**会員数** 12 法人会員、3 行政会員、6 個人会員
   
 注釈:
 

- 当日参加者数、発表者数、会員数はアンケート調査による概算値でJCOMM法人の会員数ではありません。
- 2020年〜2021年は「コロナ禍」の影響でオンライン発表が増加しましたが、2022年の当日参加者数はオンライン発表を含む総数を示しています。2021〜22年の当日参加者数は会場発表のみです。オンライン発表は定員の枠内です。
- 法人会員は2011年〜2021年〜2022年は個人会員の割合が大きいです。



2016 松山  
2017 福岡  
2018 豊田  
2019 金沢  
2020 広島



2021 熊本  
2022 松江  
2023 宇都宮  
2024 福井  
2025 札幌



開催地企画「道場まち歩きフィールドワーク」

開催地企画「九州のエリアマネジメントとMM戦略」

会場周辺により開催地企画が中止に

開催地企画「これからのライフスタイルとモビリティ-金沢-北陸の取組から考える〜」

コロナの影響で開催時期・開催地を変更、オンライン併用、ポスター賞設置

ウェブ併用、Youtube 最大再生数 600回

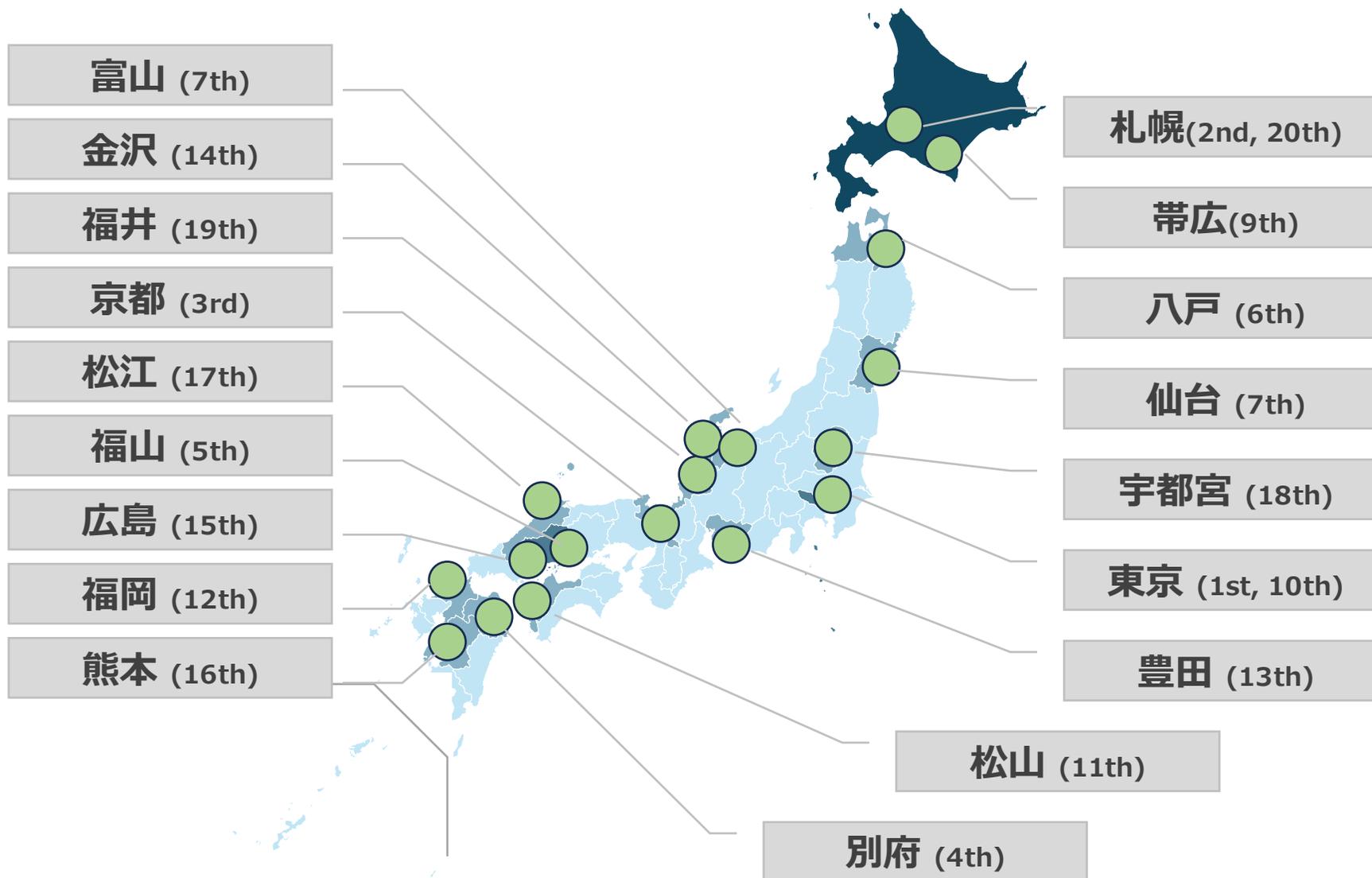
2020年開催予定だった松江で開催

2020年は特設開催だった意見交換会が再開、ポスターセッションが3枠に拡大

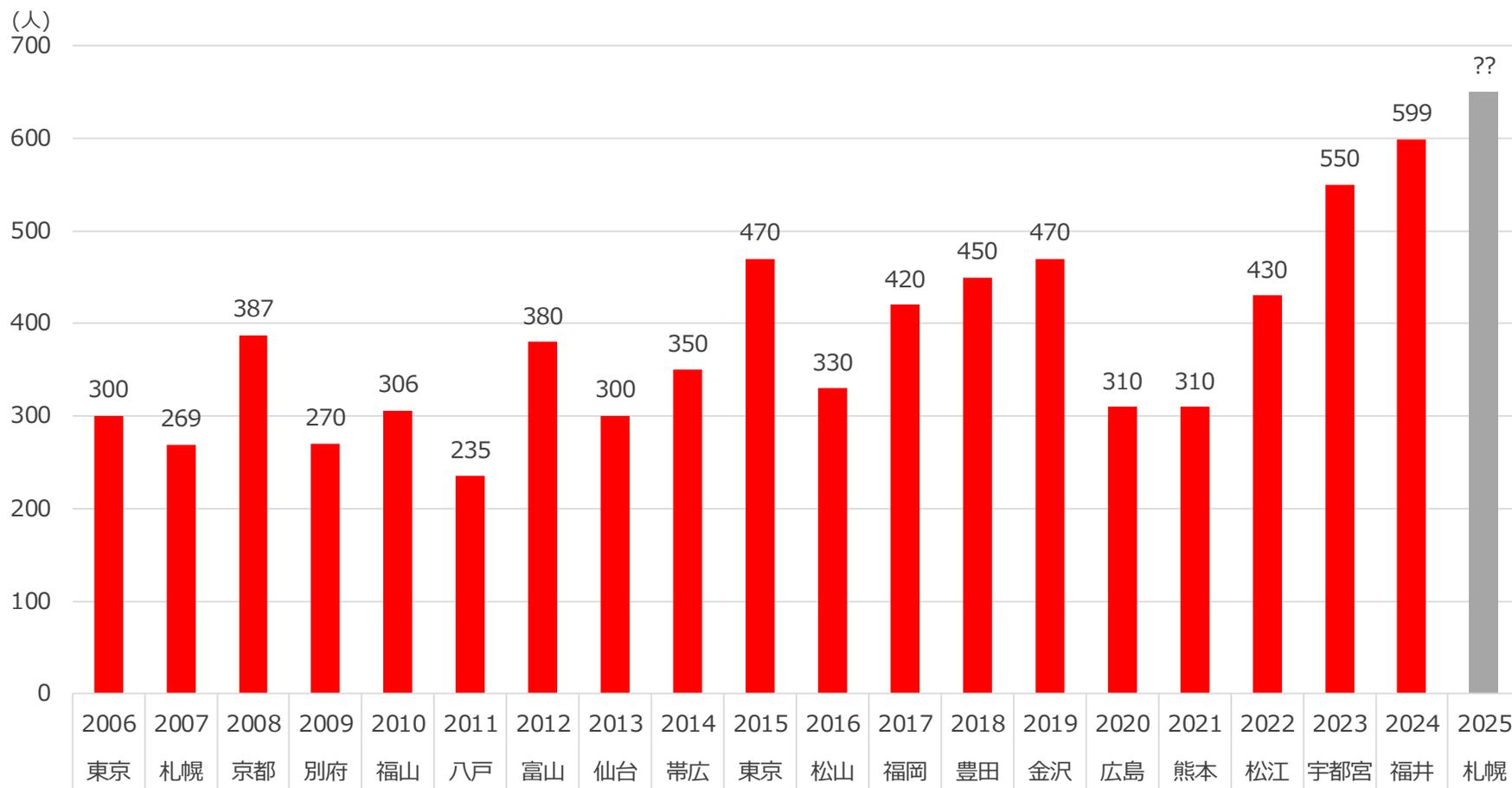
北陸新幹線金沢-敦賀間開業に合わせて開催

記念すべき第20回大会、発表件数は過去最多を更新

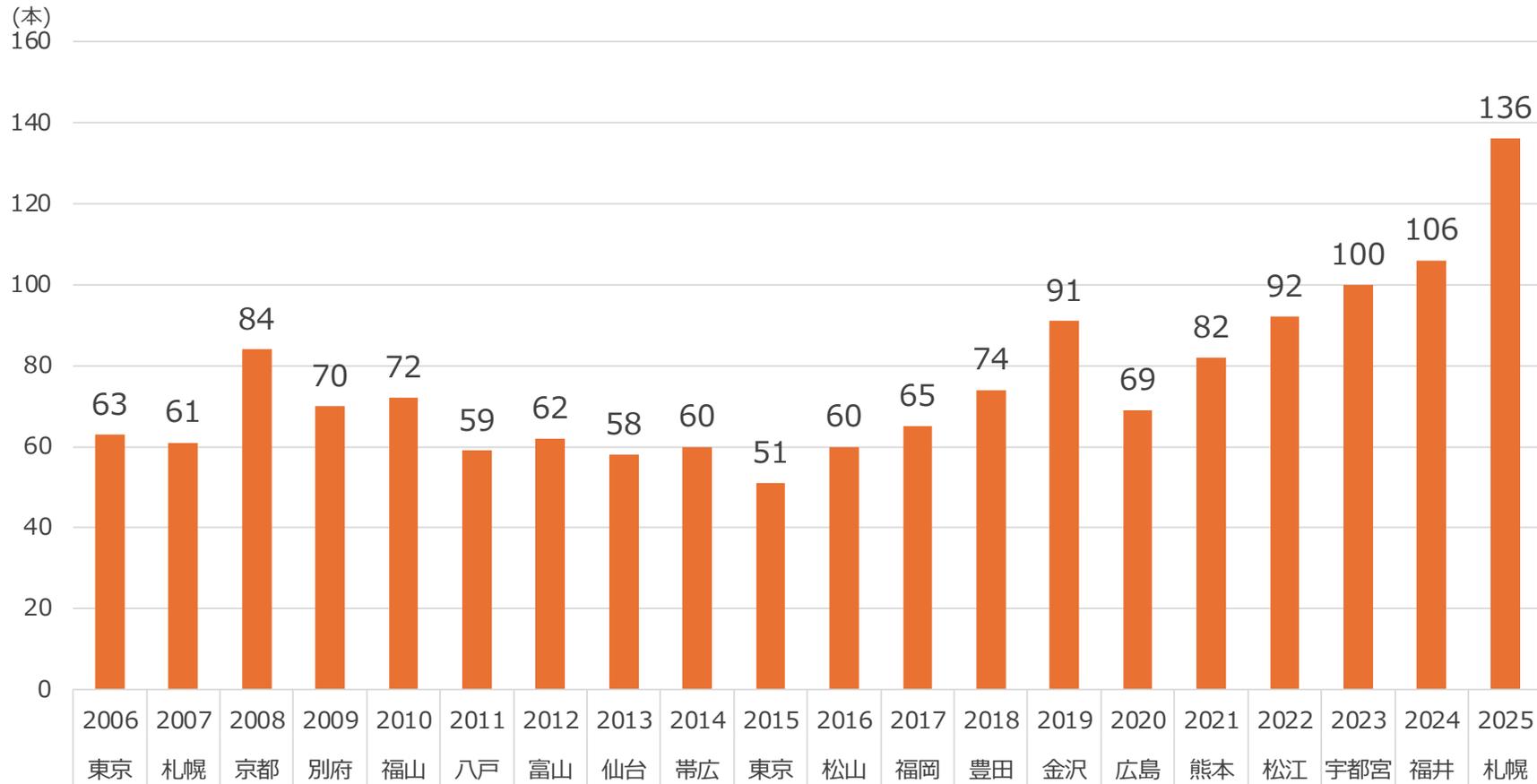
# JCOMM賞の開催地



# JCOMM参加者数の推移



# JCOMM発表件数の推移



# JCOMM賞 授賞数

			おおよそ…
マネジメント賞	:	21本	(毎年1本)
プロジェクト賞	:	38本	(毎年2本)
デザイン賞	:	29本	(毎年1本半)
技術賞	:	11本	(2年に1本)





# MM関連書籍



# モビリティ・マネジメント（MM）と は？（改）

**モビリティ**

の

**マネジメント**



人の移動にまつわる  
人と環境の相互現象  
(交通 & 交通システム)



「意志」に基づく  
集团的改善  
(政治/行政/経営/運営/協働)

# らモビリティ・マネジメント（MM）は

- 
- 交通手段の転換（**モーダルシフト**等）
  - 目的地の転換（**都心回帰**等）
  - 活動内容の転換（**外出活性化、買い物活性化**[コロナ対策含]等）
  - ライフスタイルの転換（**自動車保有とりやめ**等）
  - 交通システムの**運用改善、整備・導入**
  - 交通システムの**整備・運営組織の構築、維持、拡充、活性化** 等

…のための各種マネジメント（政治、行政、経営、運営、協働等）

# COVID-19への取り組み

COVID-19 対応

## JCOMMとしての新型コロナに対するこれまでの取り組み

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、JCOMMでは、公共交通に対する政府による迅速な支援を求めるとともに、公共交通利用時のコロナウイルス感染リスクを「正しく」理解したうえで、国民の皆様「安全」に公共交通を利用いただくための情報発信を行ってまいります。

COVID-19特設ページ



↑ クリック ↑ で視聴  
2021年6月22日開催

第4回シンポ 詳細



↑ クリック ↑ で視聴  
2021年3月9日開催

第3回シンポ 詳細



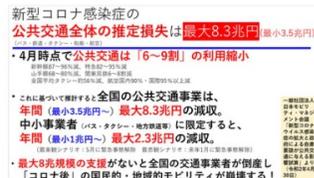
↑ クリック ↑ で視聴  
2020年7月12日開催

第2回シンポ 詳細



↑ クリック ↑ で視聴  
2020年6月7日開催

第1回シンポ 詳細



↑ クリック ↑ で拡大

交通損失推計 詳細



↑ クリック ↑ で拡大

事業者調査 詳細



↑ クリック ↑ で拡大

安全ポスター 詳細

# これからのモビリティ・マネジメント (1)



2006年 (GDP世界**第2位**)

経済裕福 & 安定秩序      **余裕あり**



2015年 (GDP世界**第5位**) (中国/ドイツ/インドに抜かれる)

経済衰退貧困化 & 秩序崩壊      **余裕なし**

⇒ 終戦直後のような**ハード・公営・規制の最重視**

# これからのモビリティ・マネジメント (2)



## 個人の移動

← **コミュニティ** (公共交通企業、自動車会社、各産業等)

← **企業** (公共交通、自動車会社、各産業等)

← **行政** (交通、運輸、都市、経済産業、**財務**等)

← **地方政界** (**首長**、議員等)

← **中央政界** (**総理**、内閣、議員等)

← **外交** (日**米**合意等2国間外交、**アジア**外交等)

モビリティ・マネジメント(MM)の  
30年、50年に向けて、

是非この**JCOMM**の場で

共に考え、  
共に活動し続けましょう！

